

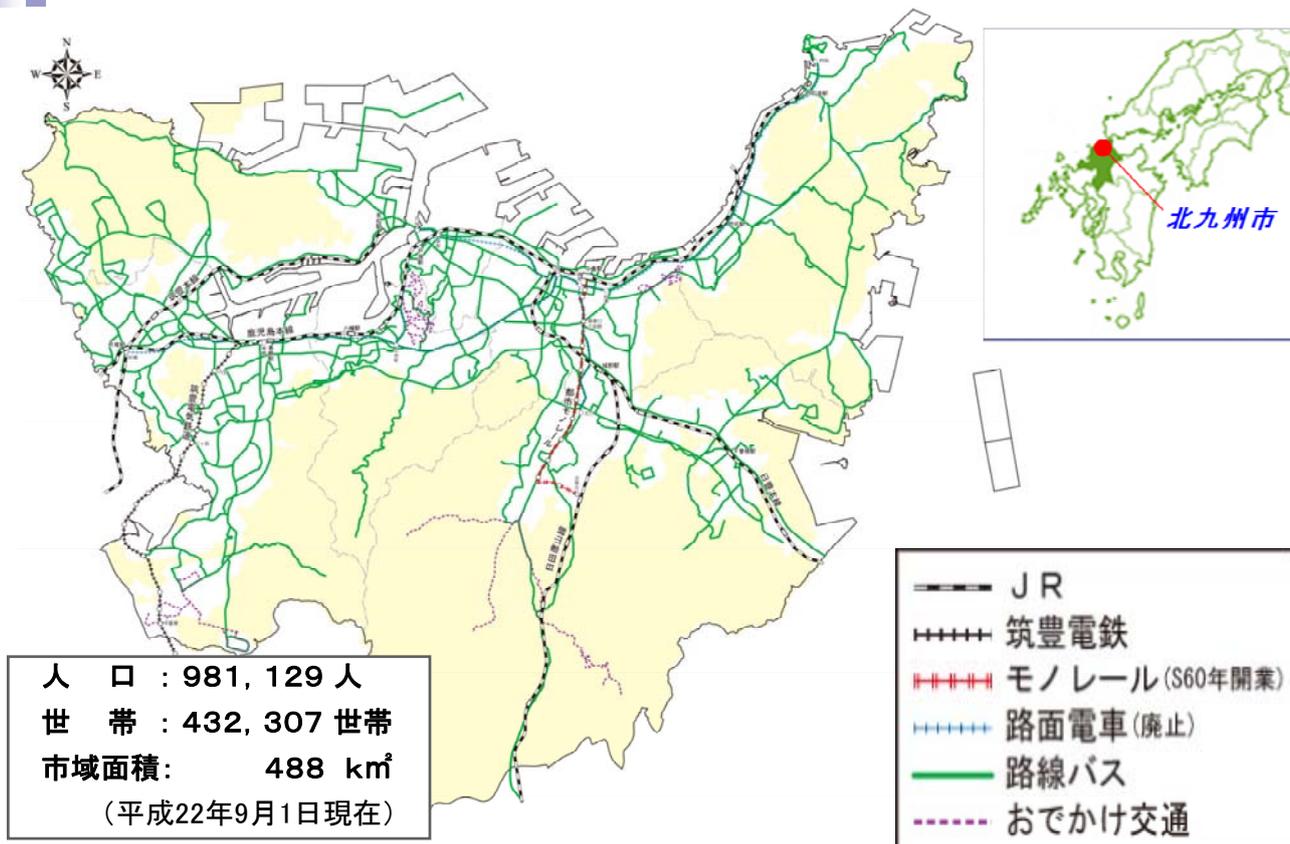
# 北九州市型コミュニティサイクル ～ 環境にやさしいシティバイク ～



平成23年2月21日 北九州市 建築都市局 都市交通政策課

1

## 北九州市の概要



2



## － スライドの構成 －

1. コミュニティサイクル導入までの経緯
2. 北九州市環境首都総合交通戦略
3. タウンモビリティ事業社会実験
4. コミュニティサイクル導入促進事業
  - (1) 概要
  - (2) 特徴
  - (3) ステーション設置地区
  - (4) 料金体系
  - (5) 利用状況
  - (6) 今後の展開

3



## 1. コミュニティサイクル 導入までの経緯

4

- H20. 7 北九州市が「環境モデル都市」に認定
- H20.12 交通事業者等を含む策定委員会で「北九州市環境首都総合交通戦略」を策定・レンタサイクルの普及（28施策のひとつ）
- H21. 2 「ちょこ乗り交通 タウンモビリティ事業社会実験」スタート
- H21. 4 環境モデル都市を対象とした、「環境保全型地域づくり支援事業（H20年度2次補正）」において、「コミュニティサイクル導入促進事業」として採択
- H21. 8 コミュニティサイクル事業者の公募
- H21.12 コミュニティサイクル事業者として「NPO法人タウンモビルネットワーク北九州」を決定
- H22. 3 コミュニティサイクル事業（愛称「シティバイク」）がスタート

5



## 2. 北九州市環境首都総合交通戦略

6

## ■目的

北九州市では、過度のマイカー利用から、地球環境にやさしいバスや鉄道などの公共交通や徒歩・自転車への利用転換を図り、市民の多様な移動手段が確保された、安全で安心して利用することができる交通体系の実現を目指す。

### I 意識

- 1) 意識の向上と実践

### II 公共交通

- 1) 公共交通拠点（主要交通拠点、交通拠点、生活交通拠点）
- 2) 公共交通軸（主要幹線軸、幹線軸、支線）
- 3) 全市的な施策

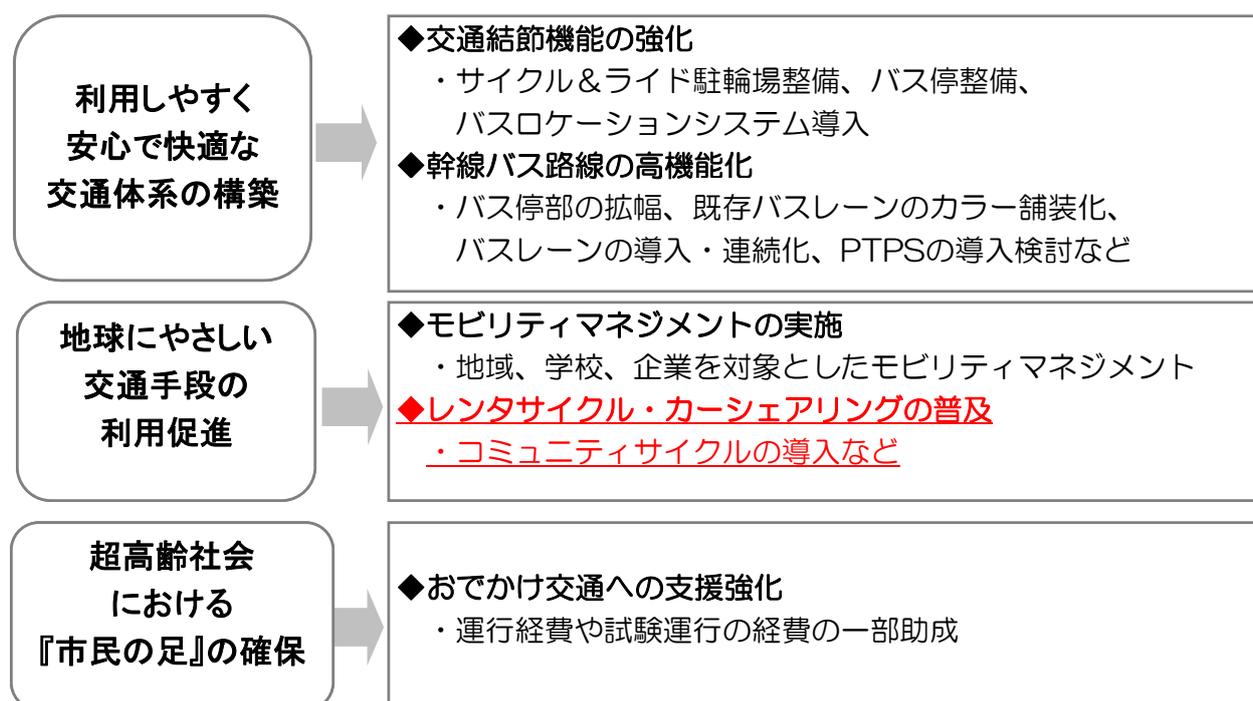
### III 道路交通

- 1) 道路交通軸（自動車交通軸、バス機能強化検討区間）
- 2) 歩行者・自転車交通

7

### 『基本方針』

### 『重点施策』



8

### 3. タウンモビリティ事業社会実験

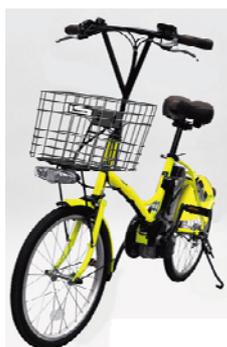
9

#### 概要

##### ■目的

交通結節点に電動自転車（レンタサイクル）や軽自動車（カーシェアリング）などを配置することで、マイカー利用を減少させ、公共交通の利用促進を図るとともに、中心市街地の活性化を支援する。

##### ■実施内容



レンタサイクル



カーシェアリング

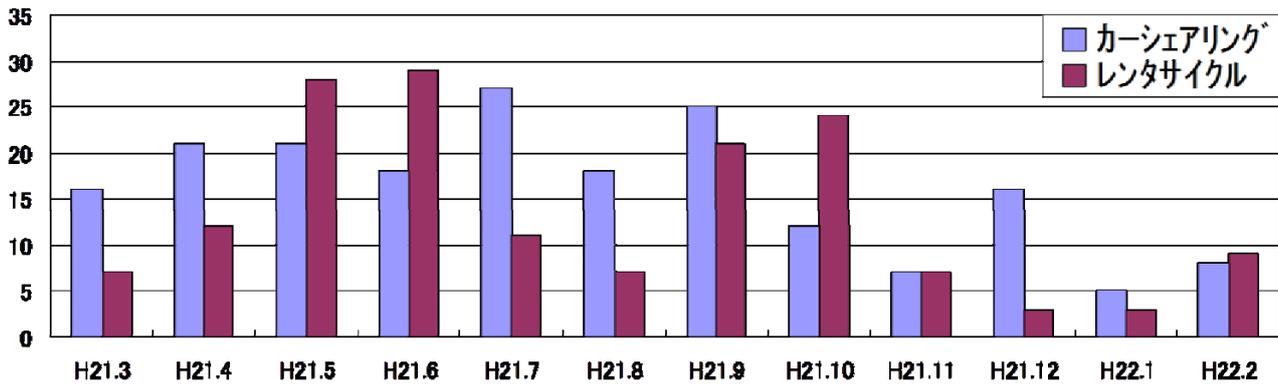


電動カート貸出

10

## ■ 利用状況

カーシェアリング・レンタサイクル利用状況



## ■ アンケートによる意見・要望

- ・ 行動範囲が広がった。
- ・ 健康的で良い。
- ・ ステーションがもっと増えれば良い。
- ・ 走行環境の整備をしてほしい。

11

## 4. コミュニティサイクル 導入促進事業

12

## ■目的

市街地で自転車を共同して利用する環境を整えることで、過度なマイカー利用から公共交通や自転車を積極的に利用するライフスタイルへの意識と行動の変革を促す。

## ■実施状況

- ・ 事業主体：特定非営利活動法人タウンモビルネットワーク北九州
- ・ 実施箇所：小倉都心地区（ステーション7箇所、電動自転車92台）  
八幡東区東田地区（ステーション3箇所、電動自転車24台）
- ・ 事業開始：平成22年3月27日～
- ・ 補助事業：環境保全型地域づくり推進支援事業〔環境省〕  
（ 補助率：10/10、補助金額：1億1250万円 ）
- ・ 愛称：シティバイク

13

## ■シティバイクの特徴

- ・ 民間事業者による施設整備及び管理、運営
- ・ 全ての自転車が電動自転車
- ・ 24時間利用可能
- ・ どのステーションでも貸出、返却可能
- ・ 自転車のデザインとして

本市の花である「ヒマワリ」の黄色を使用

14

事業者：NPO法人タウンモバイルネットワーク北九州

主な活動内容

- ・門司港観光レンタサイクル事業（H15.11月～）
- ・自転車、バイク駐車場事業（H16.11月～）
- ・カーシェアリング事業（H17.1～）
- ・北九州市交通公園の指定管理者に選定（H18.4月～）



観光レンタサイクル



自転車、バイク駐車場

電動自転車

全ての自転車が電動自転車である

コミュニティサイクルの本格実施は、**世界初！！**



バッテリー



無人対応のため、24時間の貸出・返却が可能！！



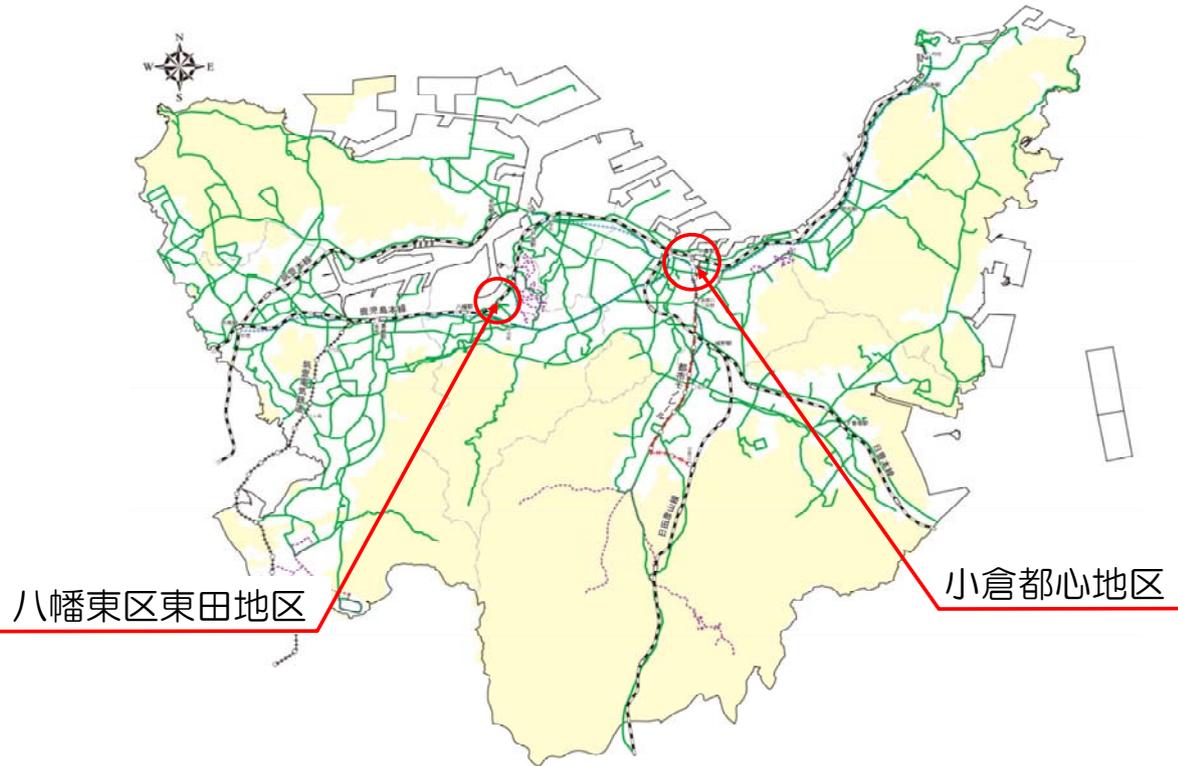
17

## ■利用対象

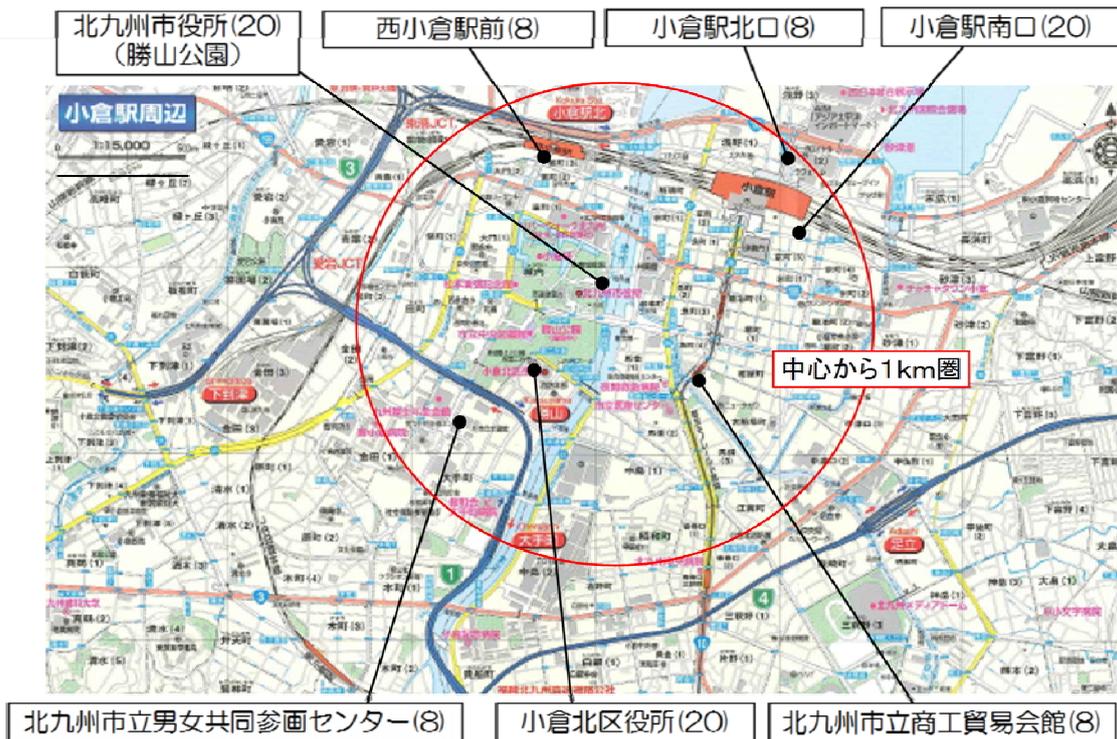
- ・ 自動車を利用して短距離移動するビジネス客
- ・ 自動車ですりや商店街、市役所など  
私用により施設を訪れる市民
- ・ 自動車を利用している通勤客
- ・ 小倉城、環境ミュージアムなどの  
集客施設を回る観光客

など

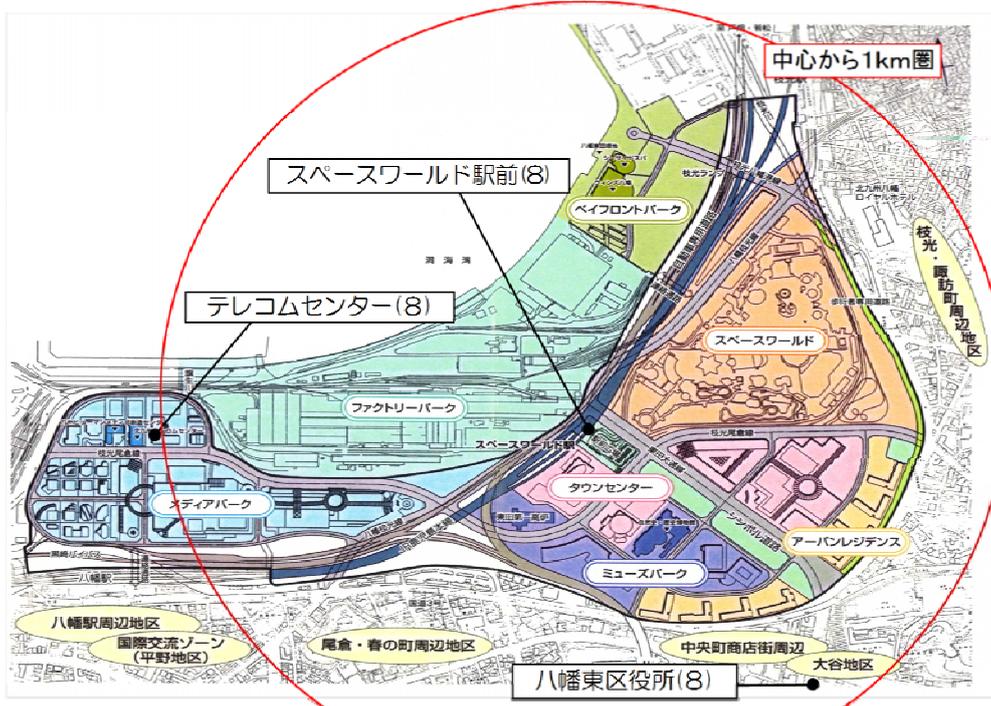
18



■ステーション設置箇所



# ■ステーション設置箇所



21

# ステーション設置状況



小倉北区役所前(小倉地区)



テレコムセンター(東田地区)

22

## ■ 会員利用

- ・ 基本料

月額基本料	基本プラン	ファミリー3プラン	ビジネス6プラン
	525円	1365円	2520円

- ・ 利用料

利用料	標準料金	1時間	105円/1時間毎
		最大	525円/5時間～(返却24時まで)
定額料金	1ヶ月	5,250円/1ヶ月	
	3ヶ月	12,600円/3ヶ月	

## ■ 一時利用

500円/1日分

23

## ■ 利用実績 (H22.3.27～H22.12.31現在)

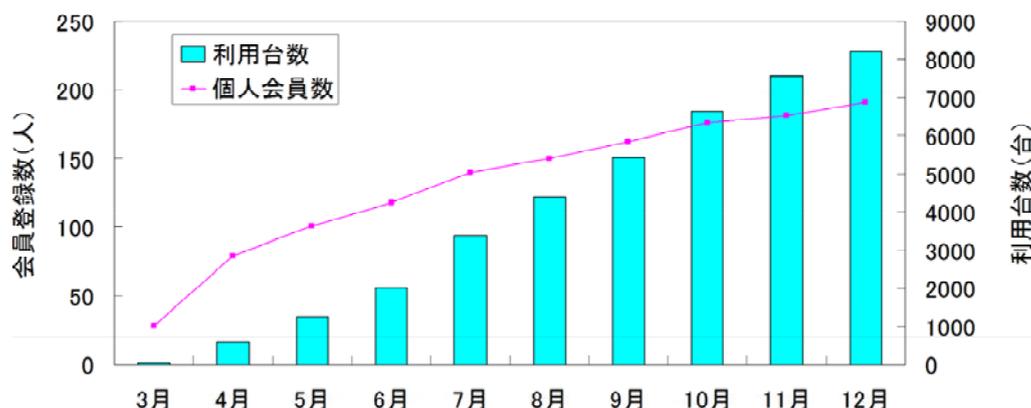
- ・ 会員登録数

法人会員：14法人（459人）、個人会員：191人

- ・ 利用台数

会員利用：7,405台、一時利用：795台

- ・ 月別利用状況（累積）



24

## ■効果

- ・ 自動車利用の見直しによるCO<sub>2</sub>の削減
- ・ 新たな交通手段の確保による行動範囲の拡大
- ・ 自転車利用による

環境に配慮した取り組みのPR など

## ■課題

### ・ 利用率の向上

- ・ 走行環境の改善
- ・ 利用のマナーアップ

など

25

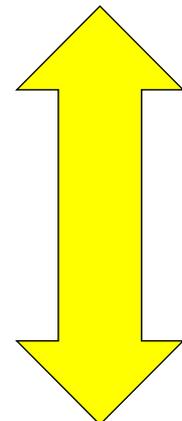
## 今後の展開

### ■今後の取り組みについて

- ・ 法人会員を中心とした勧誘活動
- ・ 市政情報や公共施設などでのPR活動
- ・ イベント等の実施（体験試乗会など）
- ・ 料金体系見直しの検討
- ・ ステーションの再配置及び増設の検討

など

短期



中・長期

26

## 参考. シティバイクに関する取り組み

27

### 取り組み①

#### ■シティバイク公務使用の実施

- ・ 目的：市職員が率先して利用することで、低炭素まちづくりを推進するとともに、企業や市民の方が公共交通や自転車を積極的に利用するライフスタイルへの意識と行動の変革を実践することを期待するもの。
- ・ 開始日：平成22年9月6日～
- ・ 登録数：38課、366人
- ・ 利用状況：延べ494台（H.22.9.6～H22.12.31現在）



28

## ■体験試乗会の実施

- ・目的：公共交通利用促進イベント等においてシティバイクのPRを行うとともに、電動自転車を利用したことがない人にその便利さを体験してもらうことで、普及促進に繋げるもの。
- ・実施日：平成22年11月3日（モノレール祭り）
- ・体験者数：約200人



29

おわり

30